

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日（中間配当を行う場合）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711（通話料無料）
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.mapple.co.jp/">http://www.mapple.co.jp/</a> （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内



当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、100株以上ご所有（平成22年3月末現在）の株主様に、3,000円相当の当社商品を進呈しております。

本年は当社創業50周年を記念して限定復活出版します全国道路地図帳『マップル』とご好評をいただいております『全国SA・PA道の駅ガイド』を株主様のお届出住所にお送りいたします。

発送は7月下旬を予定しております。

《株主優待の発送についてのお問い合わせ》  
株主優待事務局（平成22年9月末まで）  
0120-228-467  
（受付時間9:00～17:00／土・日・祝日を除く）



## 第51期 年次報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日



株式会社 昭文社（証券コード No.9475）

〒102-8238 東京都千代田区麹町3-1 TEL03-3556-8111（代表）  
ホームページアドレス <http://www.mapple.co.jp/>

株式会社 昭文社

## 株主の皆様へ

新たな50年の発展を目指してまいります。



代表取締役社長

黒田 茂夫

Q 事業環境を振り返っていかがでしたか。

A 当社を取り巻く、電子地図業界・出版業界は、前期に引き続き厳しい事業環境となりました。

国内の経済は、一部、新興国における経済回復の恩恵を受ける業種もありましたが、総じて企業業績の本格的回復にはまだ時間がかかるとの思われ、個人消費の低迷が継続しております。

電子地図業界においても、消費者の購買意欲はいまだに低く、エコカー減税による自動車販売台数は増加傾向にあるものの、従来の高額な高機能カーナビゲーションに代わり廉価な簡易型カーナビゲーション（PND）が普及しています。そのため、各カーナビメーカーの売上高も減少しています。また地理情報システム（GIS）市場でも企業業績の悪化を受け、各種システムの新規採用や機能拡充といった大型案件が実現化せず、厳しい事業環境となっています。

出版物販売額は書籍・雑誌ともに連続して前年実績を下回り、昭和63年以来21年ぶりに2兆円を割り込むなど、出版業界は依然として市場の縮小傾向が続いています。

Q 当期の業績についてお聞かせください。

A 景気の低迷を受け、売上高は前期に比べ若干の減収となりましたが、利益は前期実績を大きく上回る成果を上げました。

当社グループでは厳しい事業環境のもと、出版事業におけるコスト削減と電子事業における事業拡大を最重要課題と位置付け、前期末に事業戦略に沿った人員体制の適正化を実施したのに続き、当期はさらなる構造改革を推進し収益改善の実現に努めました。

その結果、当期の連結売上高は153億90百万円（前期比1億87百万円、1.2%の減少）と前期実績を若干下回る結果となりましたが、営業利益は8億8百万円（前期比27億18百万円の改善）、経常利益8億14百万円（前期比26億72百万円の改善）と前期実績を大きく上回る利益を確保することができました。

また、期末において使用目的のなくなった固定資産の除却損計上や繰延税金資産の減少による法人税等調整額の計上はあったものの、当期純利益は5億97百万円となりました（前期比66億88百万円の改善）。

Q 各事業の具体的な状況についてお聞かせください。

A 厳しい環境のなか、電子事業・出版事業ともに営業利益を確保しました。

電子事業につきましては、PND向けの売上やWeb事業におけるコンテンツプロバイダからの収入が増加しました。また、ASPサービスにおいて順調な売上を確保できたこともあり、売上高は48億66百万円となりました（前期比4億42百万円、10.0%の増加）。営業利益も大幅に改善し、1億94百万円となりました（前期比12億54百万円の改善）。

出版事業につきましては、市販出版物がインターネットなど、情報入手経路の多様化により低迷した状況を続けておりますが、『1000円ドライブ』シリーズや『ことりっふ』シリーズ、『ルールウェイマッブル』シリーズの好調や返品抑制策により、売上高は105億64百万円と当初予想を上回る実績を確保したものの、前年実績には及ばない結果となりました（前期比10億31百万円、8.9%の減少）。営業利益は14億38百万円（前期比14億10百万円の増加）となりました。

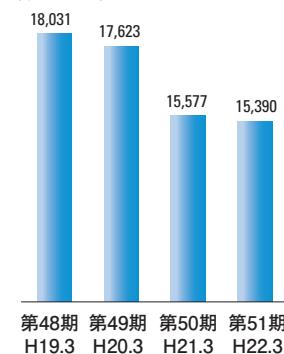
### 【経営理念】

地図をベースに  
限らない挑戦により  
変化の時代を拓き、  
社会に貢献する

### 業績の推移 (連結)

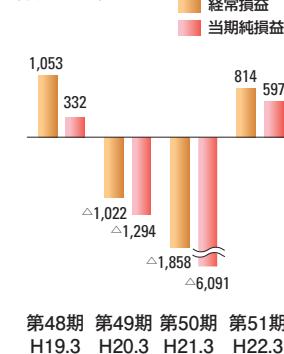
#### ■ 売上高

(単位:百万円)



#### ■ 経常損益 / 当期純損益

(単位:百万円)



#### ■ 総資産 / 純資産

(単位:百万円)

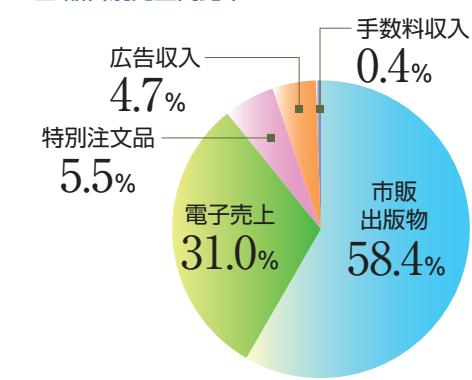


#### ■ 自己資本比率

(単位:%)



#### ■ 品目別売上高比率



Q 来期の見通しについてお聞かせください。

A 各事業分野における経営資源の集中と選択による展開で、収益力を強化してまいります。

来期におきましても非常に厳しい事業環境が続くものと判断しています。当社グループでは、電子事業においては今後も普及が望めるPND市場に経営資源を投入するとともに、新規デバイスであるスマートフォンも視野に入れた携帯電話サービスの提供にも力を入れてまいります。Webサービスと出版物との連携も重要視し、あらゆる利用者が様々なシーンで活用できる情報の提供を推進していきます。出版事業においては売上増加を目指すとともに、市場在庫の適正化を進め、返品減少を実現します。

利益面においても、さらなる経営資源の集中と選択を実行し、あらゆる場面でのコスト削減を徹底するとともに収益力の強化を実現いたします。

このような方針のもと、来期の業績につきましては、売上高158億90百万円（前期比3.3%増）、経常利益3億40百万円（前期比58.2%減）、当期純利益2億90百万円（前期比51.4%減）を見込んでおります。

Q 配当方針と最後にメッセージをお願いします。

A 当期の配当金は1株当たり20円といたします。会社創業50周年を迎える本年、新たな50年の発展を目指す年といたします。

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置付けており、利益配分につきましては会社の業績や経営環境を勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本方針としています。当期の利益配当金につきましては、当初の予定どおり、前期16円の普通配当に対して4円増額し、1株当たり20円とさせていただきます。

なお、来期の配当につきましては、さらなる営業努力とコスト削減により利益を確保できる見込みであることをふまえ、1株当たり20円とさせていただきます予定であります。

当社は、本年、創業50周年を迎えました。過去50年をかけて築き上げてきた当社商品の象徴としての“MAPPLEブランド”の価値を再認識し、そこに新たな価値を付け加え、育てていくことで、新たな50年の発展を目指すスタートの年にまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 50周年記念ロゴのご紹介

キービジュアルコンセプト：実り・元気・感謝



MAPPLEの象徴である「りんご」とイメージ連鎖をねらった「蜂」をキービジュアルとしました。蜂はりんごの受粉を助け果実（＝地図・ガイドブック・ナビなど）を実らすことからより良い商品をもっとお客さまに届けたいという思いをこめています。また、ブンブンと元気よく飛び回る（＝旅・おでかけ）姿に、日本を「旅とおでかけ」でもっと明るく元気に！という希望をこめています。

### ■ 来期業績見通し

売上高 158億 90百万円

経常利益 3億 40百万円

当期純利益 2億 90百万円



# これまでの感謝と希望の50周年



これまで支えてくださったお客さまへの感謝の気持ちをこめて。これからも「旅とおでかけ」でもっと明るく元気に！という希望をこめて。当社50年の歩みを懐かしの商品とともにご紹介します。

1960年

●大阪で株式会社昭文社創業

1968年

●東京に本社移転

1970年

●『大阪万国博ガイドマップ』が大ベストセラー

1972年

●『グランプリ道路地図帳』  
(当社初の本タイプの道路地図帳創刊)



1978年

●『ミニミニガイド』（旅行ガイドブックへの参入）

1984年

●『マップル』（B4判大型道路地図帳創刊）

1985年

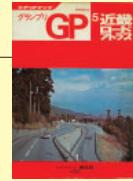
●『エリアガイド海外版』（オールカラー海外版ガイドブック創刊）

1989年

●『マップルマガジン』（旅行情報誌創刊）

1991年

●『スーパーマップル』（詳細図から広域図まで使いやすさを追求した道路地図帳創刊）



1996年

●『個人旅行』（個人旅行者向け海外旅行ガイド創刊）  
●株式を店頭公開

1999年

●『SiMAP』（昭文社統合地図情報システム）  
第1期整備計画の完了  
●本社ビル竣工

2000年

●東京証券取引所市場第1部に上場  
●『スーパーマップル・デジタル』地図データベースソフト販売

2002年

●『日本コンピュータグラフィック株式会社（現株昭文社デジタルソリューション）』の子会社化

2005年

●『震災時帰宅支援マップ』

2006年

●子会社「株式会社リビット」を設立  
●子会社「キャンバスマップル株式会社」を設立

2007年

●宿泊予約事業参入

2008年

●『ことりっぶ』

2010年

●創業50周年



## 電子事業

### 業績

当期の電子事業は、企業業績の低迷により民間需要は横ばいとなりましたが、国土地理院のデータ整備事業をはじめ自治体向けの受注が好調に推移しました。また、Web事業は携帯サービスを展開するコンテンツプロバイダからの収入が大幅に増加したことに加え、ASPサービスも前年実績どおりの成果を上げました。さらに、宿泊予約サイト『MAPPLEトラベル』の携帯キャリア公式サイトへの採用や当社発行の旅行情報誌と連携した携帯電話向けサービス『MAPPLE-LINK』の開始など、コンシューマー向けサービスの強化に努めました。

### トピックス

#### PND向け『MAPPLEnavi』本格展開

当期は、PND（簡易型カーナビゲーション）向け事業が大きく飛躍しました。PND向けアプリケーションソフト『MAPPLEnavi』は、当社のマップルガイドデータの豊富なコンテンツやキーワード検索、ぬけみち検索、でっか字など使い勝手のよさが認められ、供給先は前期にご採用いただいた(株)ユピテルに加え、(株)アール・ダブリュー・シー、(株)トライウインの3社に増加しました。今後も旅やドライブにおけるナビを楽しく使ってもらうというコンセプトのもと、ますます拡大するPND市場でのシェア拡大に努めてまいります。



### 電子事業の3本柱

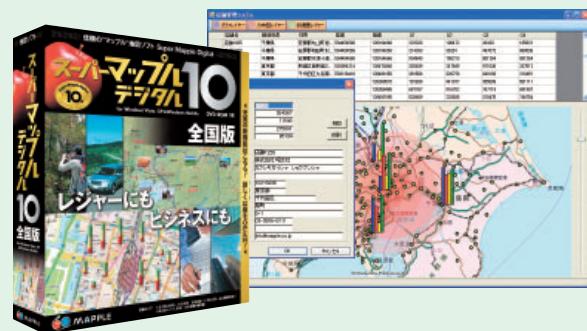
#### GIS

ASPサービス、地図入力受託、  
コンテンツ提供、地図ソフトなど

#### カーナビゲーション

#### Web

コンシューマー向けサービス、  
宿泊予約サービスなど



#### 『スーパーマップル・デジタル10』と『Mapple G-SDK』で高機能な地図ソフトを提供

平成21年7月、『スーパーマップル・デジタル10』は、従来のレジャーに役立つルートプランニングなどの充実した機能に加え、手持ちのデータを取り込むことにより地図と連携した分析が可能になるなど、ビジネスにも活用できる機能を充実させました。

さらに同年9月、『スーパーマップル・デジタル10』と連携してオリジナル地図を作成できるGISアプリケーション開発キット『Mapple G-SDK』を発売しました。企業が保有する顧客管理情報や配送管理の情報等と地図を連携させることにより、業務の効率化を大幅に促進することが可能です。

## 出版事業

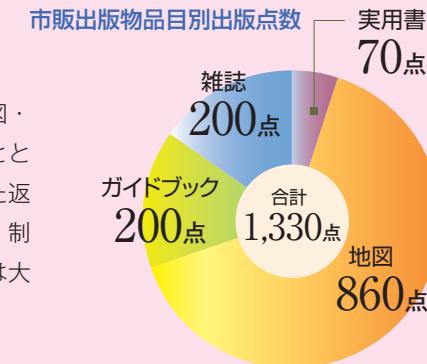
### 業績

当期の出版事業は、個人消費の低迷や新型インフルエンザの流行などにより、地図・ガイドブックの販売が厳しい状況で推移しました。しかし、ヒット商品による効果とともに、各書店の販売力、販売傾向に合わせた商品供給の徹底により課題となっていた返品率の抑制を図ったことや、不採算商品や非効率商品、新規シリーズ出版の見直し、制作工程の見直しによるコスト削減など大胆な集中と選択を実施した結果、損益面では大幅に改善しました。

### トピックス

#### 『1000円ドライブ』シリーズを続々刊行

当期は、平成21年3月から実施された高速道路料金引下げに加え、夏季休暇やシルバーウィークもあり、ドライブガイドシリーズや廉価版道路地図に対するニーズが高まりました。そこで、高速道路料金1000円を活用したおすすめドライブコースを紹介する『1000円ドライブ』シリーズを、時機を捉えて刊行しました。各コースの立ち寄りスポット、景観や交通情報など充実ドライブコースを地図上に記載しているだけでなく、サービスエリア・パーキングエリアなどのご当地グルメ、おみやげカタログなどの情報も掲載し、読み応えも活用度も充実した一冊として大変ご好評をいただきました。



#### 女性に人気のガイド『ことりっぶ』シリーズ、海外版も大好評！

人気国内ガイドブックシリーズ『ことりっぶ』の海外版を、女性に人気のエリア「ソウル」「上海」など5点を皮切りに、平成21年6月より発売開始しました。海外版も女性にうれしい厳選情報だけを掲載し、ちょうどいい等身大の旅を提案し、国内版同様に好評を博しています。また、国内版の『ことりっぶ』は、ご好評にお応えし、大手コンビニエンスストアにおける販売や、カタログギフト誌への掲載など、新たな需要を開拓する取り組みも進めました。

#### 鉄道地図初の大きな正縮尺地図帳、『レールウェイマップル』シリーズ発売開始

鉄道地図帳『レールウェイマップル』シリーズは鉄道ファンから列車の旅を楽しむ方まで、幅広い層が使える情報を地図上にすべて集約した本格鉄道地図です。鉄道地図初の大きな正縮尺（25～30万分の1）に、鉄道ファン向けの専門的な項目や、「鉄道遺産・遺構」「車窓からの絶景」「駅弁」などの旅にうれしい情報まで、あらゆる鉄道情報を地図に落とし込んでいます。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成22年3月31日現在)	前期 (平成21年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	13,873	12,944
固定資産	19,533	20,132
有形固定資産	9,870	10,159
建物及び構築物	3,382	3,563
土地	6,246	6,246
その他	240	349
無形固定資産	7,117	7,564
データベース	6,021	6,548
のれん	475	534
その他	621	481
投資その他の資産	2,544	2,408
投資有価証券	1,526	1,469
その他	1,406	1,096
貸倒引当金	△388	△157
<b>1 資産合計</b>	<b>33,406</b>	<b>33,076</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,225	4,207
固定負債	1,417	1,449
<b>2 負債合計</b>	<b>5,643</b>	<b>5,657</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	27,633	27,302
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	7,545	7,215
自己株式	△524	△524
評価・換算差額等	129	115
その他有価証券評価差額金	121	108
為替換算調整勘定	8	7
<b>3 純資産合計</b>	<b>27,763</b>	<b>27,418</b>
負債純資産合計	33,406	33,076

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

### 1 総資産

資産合計の増加は、減価償却を実施したことによりデータベース、有形固定資産が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものです。

### 2 負債

負債合計の減少は、支払手形及び買掛金、賞与引当金、退職給付引当金が増加した一方で、返品調整引当金、固定負債その他が減少したことによるものです。

### 3 純資産

剰余金の配当があったものの当期純利益により増加いたしました。

### 詳細な財務情報は 当社ホームページに掲載しています

昭文社のホームページは、株主・投資家の皆様に向けてIR情報を豊富に盛り込んでいます。ニュースリリースによる最新情報や財務情報もご覧いただけます。また、年次報告書のバックナンバーや株価情報も盛り込んでいますので、ぜひアクセスしてください。



<http://www.mapple.co.jp/>

## 連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
<b>4 売上高</b>	<b>15,390</b>	<b>15,577</b>
売上原価	10,246	12,586
売上総利益	5,143	2,991
販売費及び一般管理費	4,334	4,901
営業利益又は営業損失(△)	808	△1,909
営業外収益	84	123
営業外費用	78	72
経常利益又は経常損失(△)	814	△1,858
特別利益	13	292
特別損失	75	4,683
税金等調整前当期純利益 又は当期純損失(△)	751	△6,249
法人税、住民税及び事業税	24	30
法人税等調整額	130	△188
<b>5 当期純利益又は当期純損失(△)</b>	<b>597</b>	<b>△6,091</b>

## 連結株主資本等変動計算書

当期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成21年3月31日 残高	9,903	10,708	7,215	△524	27,302	108	7	115	27,418
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△266		△266				△266
当期純利益			597		597				597
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						13	0	14	14
連結会計年度中の変動額合計	—	—	330	△0	330	13	0	14	344
平成22年3月31日 残高	9,903	10,708	7,545	△524	27,633	121	8	129	27,763

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	当期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,715	2,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	△691	△1,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	△372	△745
現金及び現金同等物の増加額	1,650	228
現金及び現金同等物の期首残高	5,315	5,087
現金及び現金同等物の期末残高	6,966	5,315

### 4 売上高

電子事業での、ナビゲーション関連売上の増加。出版事業での、ドライブ関連商品や廉価版地図帳の堅調な売上により、予想を上回る売上高を確保しました。しかし、GIS関連コンテンツの提供伸び悩みや出版市場の縮小もあり、実績は前期を若干下回りました。

### 5 当期純利益

前期末に実施した早期退職制度や固定資産の減損処理の影響による、人件費や償却費負担の改善、及び当期における不採算商品、非効率商品の中止や制作工程見直しによるコスト削減より大幅に改良しました。

## 株主アンケート結果のご報告

当社では平成21年9月末日現在の株主様を対象にアンケートを実施いたしました。ご協力ありがとうございました。

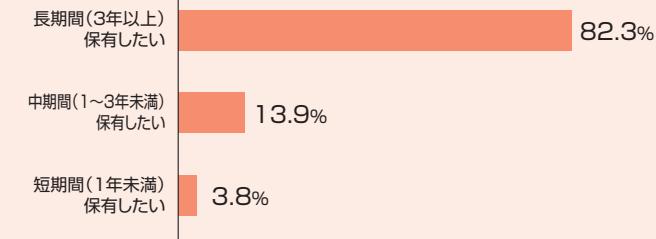
結果を以下にご報告申し上げます。

【実施時期】平成21年12月中旬～平成22年1月31日  
【集計枚数】4,141枚（回収率22.9%）

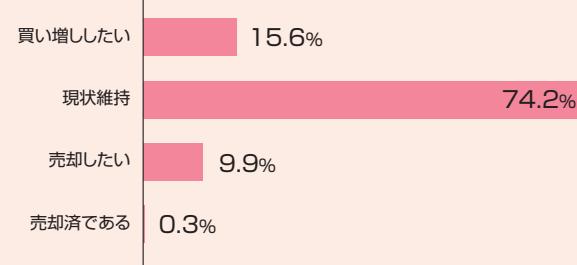
### ■ 株式購入理由



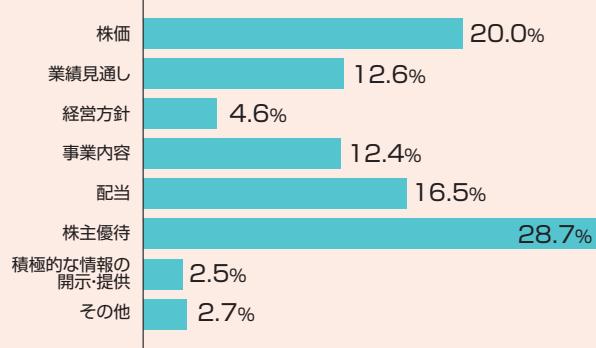
### ■ 株式保有方針(期間)



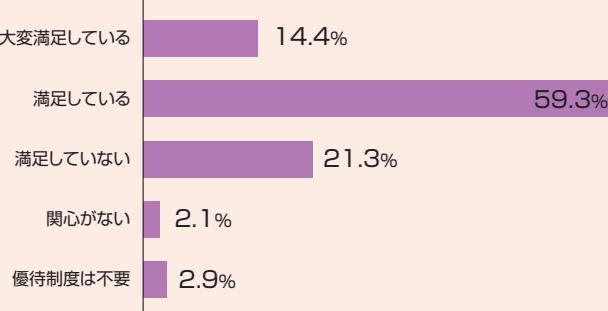
### ■ 株式保有方針(売買)



### ■ 株式保有判断材料



### ■ 株主優待制度



今後も引き続き当社へのご支援を賜りますようお願いいたします。

## 株式の状況 (平成22年3月31日現在)

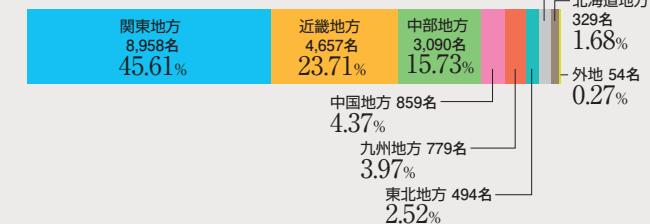
発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	19,639名

### 大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
黒田 敏夫	3,574千株	21.49%
黒田 茂夫	1,699	10.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	847	5.09
昭文社員持株会	495	2.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	442	2.66
株式会社三井住友銀行	347	2.08
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY-JAPANESE SMALL COMPANY SERIES (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	302	1.81
株式会社三菱東京UFJ銀行	246	1.48
株式会社ファウンダー・マップル	180	1.08
株式会社エムティーアイ	174	1.04

- (注) 1. 持株比率は、発行済の普通株式の総数から自己株式(678,424株)を控除して計算しております。  
2. 当社は自己株式を678,424株保有しておりますが、当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外しております。  
3. 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式数の全ては、信託業務に係るものであります。  
4. 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式数の全ては、信託業務に係るものであります。

### ■ 地域別株主分布状況



### ■ 所有者別株式分布状況



## 会社概要 (平成22年3月31日現在)

- 会社名 株式会社 昭文社
- 創業 昭和35年5月
- 資本金 99億387万円
- 従業員数 432人
- 本社所在地 東京都千代田区麹町3-1
- 事業内容 SiMAPを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売を行う「出版事業」、ならびにデジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスを提供する「電子事業」を展開

### 役員 (平成22年6月29日現在)

代表取締役社長	黒田 茂夫
取締役	大野 真哉
取締役	内田 次郎
取締役	熊谷 隆司
取締役	清水 康史
常勤監査役	立川 喜久夫
監査役	関 聡介
監査役	桑野 雄一郎

### 事業所 (平成22年4月1日現在)

本社	東京都千代田区	株式会社昭文社
大阪支社	大阪市淀川区	デジタルソリューション
制作本部	東京都江東区	千葉県市原市
テクノセンター	東京都中央区	【事業内容】 マッピング事業及びシステムソリューション事業
仙台営業所	仙台市若林区	
横浜営業所	横浜市西区	
名古屋営業所	名古屋市千種区	キャンバスマップル株式会社
福岡営業所	福岡市中央区	【事業内容】 昭文社保有の地図及びガイドデータを活用したカーナビゲーション用ソフトウェアの開発・企画制作・販売
東京商品センター	東京都足立区	
大阪商品センター	大阪府摂津市	
埼玉製本センター	埼玉県加須市	

株式会社リビット  
東京都中央区  
【事業内容】  
ローカル広告メディア事業、ローカル広告企画・マーケティング事業及びWEB・モバイル広告メディア事業